



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

しらばと

2024.1-2

No.462

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



2023年秋

会員から寄せられた「シギ・チドリ類とタカの渡り情報」から

日本野鳥の会埼玉 調査部・IT委員会

●県内各地のシギ・チドリ類の渡り状況

7月23日～10月14日の間に、22ヶ所、85件の情報を頂きました。チドリ科4種、シギ科16種、その他2種（セイタカシギ、タマシギ）の計22種が記録されました（表）。ホームページでの渡り情報収集を始めた2016年から今まで8年間の観察種数推移を図に示しました（対象：チドリ科、シギ科）。観察された種類の総数は30種、最高は2017年の25種、最低は2016年の17種でした。毎年観察された種はケリ、ムナグロ、コチドリ、オオジシギ、タシギ、アオアシシギ、クサシギ、タカブシギ、イソシギ、トウネン、オジロトウネンの11種でした。

表 2023年 シギ・チドリ類の渡り状況まとめ

観察地	鳥種	ケリ	ムナグロ	イカルチドリ	コチドリ	オオジシギ	タシギ	オグロシギ	アオアシシギ	コアオアシシギ	クサシギ	タカブシギ	キアシシギ	トウネン	オジロトウネン	オジロトウネン	ヒバリシギ	アメリカウズラシギ	ウズラシギ	ハマシギ	エリマキシギ	セイタカシギ	タマシギ	種数
春日部市倉常(1)		○		○																				2
川越市久下戸		○		○	○					○											○		5	
川越市古谷本郷										○														1
川越市 伊佐沼(1)			○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	
川越市鶴田・芳野				○		○		○								○							4	
川越市菅間					○																			1
川越市大仙波						○															○		2	
川越市北田島					○																			1
行田市斎条							○		○	○													3	
行田市須加(1)		○		○											○			○						4
行田市須加(2)				○					○				○	○										4
行田市須加(3)		○	○	○		○			○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	
熊谷市上奈良				○						○										○			3	
さいたま市西区西新井														○										1
さいたま市緑区下山口新田																				○				1
志木市 柳瀬川(1)														○										1
志木市 柳瀬川(2)				○										○										2
蓮田市駒崎					○	○								○	○	○								5
東松山市古凍					○																			1
深谷市上原						○																		1
深谷市田中			○																					1
吉見町南吉見					○																			1
観察地数		1	4	3	13	3	4	1	2	2	5	4	1	7	5	3	2	1	2	2	1	5	1	



図 観察種数推移(埼玉県内 秋のシギ・チドリ類)

●県内各地のタカの渡り状況

8月7日から10月9日の間に13ヶ所、241件のタカの渡り情報が寄せられました。記録があつた場所を図に示しました。積算個体数は754羽、記録された種類は2科5種、その内訳と個体数はタカ科3種(サシバ652羽、ハチクマ72羽、ツミ19羽、ノスリ10羽)、ハヤブサ科1種(ハヤブサ1羽)でした(表1)。

各地の日別の出現数(観察された全種の総計)を表2に示しました。最高個体数は9月23日、中間平でのサシバ149羽でした。8月の早い時季に県東部で観察されている個体は、渡りの方向が不明なものが目立ちました。大宮花の丘農林公苑では8月から9月初めにかけて、多い日は10羽を超えるサシバが観察されました。中間平では総計65羽のハチクマが記録されました。これは、この場所でシーズンを通しての観察を始めた2013年以来、最高の記録でした。

Hawk Migration Network of JAPANに発表されたデータから2023年の関東全域の渡り状況を見てみると、今シーズンは渡りのピークが9月24・25日、9月29日～10月6日(特に10月2・3日)の2回ありました。関東地方では、10月に入ってからの渡りのピークは、かなり遅いと言えます。この夏は太平洋高気圧の勢力が9月下旬まで続きました。そのため渡りが遅れたものが多く、各地で足止めをされていた個体が、東から北の風が安定するようになった9月末から10月にかけて一気に渡ったものと考えられます。



図 観察情報があつた場所

表1 観察場所と観察種ごとの数

観察地	鳥種	位置	サシバ	ハチクマ	ツミ	ノスリ	ハヤブサ	合計
松伏町 まつぶし緑の丘公園	①	1						1
さいたま市緑区上野田	②	2						2
さいたま市緑区南部領辻	③	11						11
さいたま市 見沼自然公園	④	8				1		9
蓮田市 笹山	⑤	1						1
蓮田市 西城沼公園(北)	⑥	3						3
蓮田市 黒浜沼	⑦	13						13
さいたま市 大宮花の丘農林公苑	⑧	73		8	1			82
北本市 北本自然観察公園	⑨	4						4
鴻巣市 大間	⑩	1						1
所沢市 東所沢	⑪	10						10
東秩父村 皇鈴山	⑫	42	7	11	9			69
寄居町 中間平	⑬	483	65					548
種別合計			652	72	19	10	1	754

表2 タカの日別出現状況

観察地		寄居町		中間平		寄居町		中間平	
月日	松伏町	東秩父村	皇錦山	所沢市所沢	鴻巣市大間	蓮田市	東秩父村	皇錦山	所沢市所沢
8	松伏町 まつぶし緑の丘公園			2					
9	さいたま市笹山		1						
10	蓮田市			2					
11	蓮田市	1							
12	西城沼公園(北)			1					
16	蓮田市	1		2					
17	黒沢治			2					
18	さいたま市西区	大宮花の丘農林公園							
20	さいたま市緑区南部領辻		10	8					
21	さいたま市緑区上野田		1	2					
22	西城沼公園(北)		1						
23	蓮田市		1	2					
25	蓮田市			5 3					
26	西城沼公園(北)			5					
27	黒沢治			16			2		
28	1			10					
29	西城沼公園(北)		1				9		
31	蓮田市			4			7		
9	西城沼公園(北)			9					
1	蓮田市			7			4		
2	黒沢治			1			14		
3	さいたま市緑区南部領辻						9		
5	西城沼公園(北)			1			3		
6	蓮田市						11		
7	西城沼公園(北)						4		
10	西城沼公園(北)			2			4		
10	西城沼公園(北)						8	1	7
1	西城沼公園(北)								11
2	西城沼公園(北)								2
3	西城沼公園(北)								6
6	西城沼公園(北)								4
7	西城沼公園(北)								7
8	西城沼公園(北)								4

〈謝辞〉

シギ・チドリ類及びタカの渡りにつきまして、以下の皆様から情報をご提供いただきました(五十音順、敬称略)。記録的な猛暑にも関わらず、調査へのご協力ありがとうございました。調査部、IT委員会一同、心より御礼申し上げます。

◎シギ・チドリ類渡り情報:今村富士子、大井智弘、小林寧子、佐久間隆行、佐藤千砂、佐野和宏、嶋田富夫、瀬尾桂一、関口勇三郎、野津弘毅、廣田順平

◎タカ渡り情報:石松康幸、榎本秀和、小林みどり、佐藤千砂、佐野和宏、嶋田富夫、千島康幸、富田英紀、長嶋宏之、別井利次、結城 剛、吉成由紀夫

(調査部 小林みどり・IT委員会 佐野和宏)

野鳥記録委員会の最新情報

日本野鳥の会埼玉 野鳥記録委員会

●オウチュウ属の一種

英名 **drongo**

学名 *Genus Dicrurus*

分類 スズメ目オウチュウ科オウチュウ属



橋本末之さん(未入会の方)が越谷市増林の総合公園で、2023年9月16日午前7時ごろ撮影した写真(上掲)が当委員会に寄せられました。写真は、取り次いでくださった方が、逆光での撮影写真の色調補正も試みてくださったものです。

写真の鳥はヒヨドリよりやや大きく、ハクセキレイに追い回される姿や、カラスを追いかける行動などが、9月12日から同16日にかけて複数の観察者に観察され、メタセコイアの樹の天辺に繰り返し止まっていたということです。

当委員会で写真を検討したところ、その体形と独特の尾の様子から「スズメ目オウチュウ科オウチュウ属の鳥」という見解に至りました。また、全身の羽毛(特に尾羽や風切)に傷みが認められないことから、自然渡来のものである可能性が高いと推測しています。

しかし、写真では一見して尾が短く見えるほか、その先端の特徴的な形状がはつきりしない点、嘴基部の白斑が見られない点、嘴峰の湾曲が小さい点など、「種」を特定する根拠が乏しく、今回の事例は「オウチュウ属の鳥が観察された」という発表にとどめます。

したがって、当県内でのオウチュウの確実な観察記録は、ただいまのところ、2005年6月8日の記録(本誌2005年9月第257号参照)が唯一のものです。

『埼玉県野鳥分布調査概要』の修正

調査部

2023年3月28日付けの報告書を当会のウェブサイトで公表し、その概要を『しらこばと』2023年3-4月号に掲載しました。

その後、報告書に用いていないデータが見つかり、それを加えた報告書の改訂版を12月15日付けで出しました。

そのため、概要について修正が必要になりました。ご迷惑をお掛け致しますが、以下に示す赤字箇所の修正をお願いします。

表2 観察種数と調査メッシュ数

年	夏季調査			冬季調査		
	種数	基準	5倍	種数	基準	5倍
2020	109	150	58	133	345	100
2021	125	473	124	145	571	117
通算	135	526	128	152	639	122

表3 今回新たに記録された種

冬季調査に「コサメビタキ(1)」を追加

表5 分布域の割合が増加した上位10種

順位	種名	夏季調査		記録メッシュ数割合 (1)	記録メッシュ数割合 (2)	割合比R (1)/(2)
		今回	前回			
1~5は変更なし						
6	タマシギ	4/128	1/91	2.84		
7	エナガ	38/128	11/91	2.46		
8~10は変更なし						

表6 分布域の割合が減少した上位10種

順位	種名	夏季調査		記録メッシュ数割合 (1)	記録メッシュ数割合 (2)	割合比R (1)/(2)
		今回	前回			
1~5は変更なし						
6	カッコウ	19/128	46/91	0.29		
7	ヨシゴイ	3/128	7/91	0.30		
7	ササゴイ	3/128	7/91	0.30		
8	ムナグロ	7/128	15/91	0.33		

6.謝辞

.....112名.....

(以上)

2023年、我が家ツバメ情報です 中村圭子(鴻巣市)

3月26日、ツバメ初確認。

3月27日から古巣のリフォーム開始。

4月10日頃から抱卵を始め、4月25日頃に孵化したとみられる。後に5羽確認。

5月18日朝、子ツバメいなくなり! 巣立つたにしてはいつもより静かだった。

その後、頻繁に巣を訪れるも、5月20日頃から巣に戻ってきた親鳥に追い返される。

6月10日頃、2番子が孵化し始める。

6月17日、2羽落下していたので、巣に戻すも翌朝再び落ちて死んでいた。残り4羽を確認。

6月29日、2羽巣立ち。

7月3日と4日に1羽ずつ、計4羽巣立った。

年々ツバメは減少し、オナガも我が家ではツバメがいる間しか見られません。しかし、カラスは増えている気がします。

「ツバメ去り カラス、オナガも疎遠なる」

「ことり」の世話

榎本秀和(鴻巣市)

ウチの長女は幼稚園に勤めている。一口に幼稚園といっても、厳密には「幼保連携型認定こども園○○幼稚園」というのだそうだ。昔の感覚でいえば、「幼稚園」と「保育園」が合わさったようなものだろう。

さて、長女に「どんな仕事をしているの」と問うと、「ことり」の世話、という返事が返ってきた。はて、「ことり」とは?

園で預かる児童(0歳児から年長まで)の一部は、朝7時ごろから夜7時ごろまで、つまり、働く保護者が迎えに来るまで面倒を見なければならない。保護者が迎えに来るのが「ことり」。漢字を当てれば「子取り」と思われる。それが転じて、お迎えを待つ園児たちのことも「ことり」というのだそうだ。なるほどね。

新年のご挨拶を申し上げます 日本野鳥の会埼玉 代表 山部直喜

昨年は、4年ぶりに総会を開くことができました。私にとっては最も嬉しかったことでした。とにかくコロナ禍にあっては、全力疾走していくても現状維持、そんな感じでした。



しかし、もう違います。前に進むことができます。前に進むためには次世代の新しい力が必要です。例えば、探鳥会運営への参加、各調査活動への協力、観察記録の投稿、各部そして委員会への参加等々です。お待ちしています。

会員の皆様にとって、2024年が素晴らしい年になるよう心よりお祈り申し上げます。

越谷市中島のサギのコロニー 佐野和宏(越谷市)



2023年8月18日18:47、数を数えてみたところ650羽になりました(写真上)。しかし、見えていない個体もかなりいると推定されました。そして、実際に塘(ねぐら)入りする数はこれよりさらに多い印象でした。

そこで、同年8月31日15:25~18:30の間、すでに塘に入っている個体数とその後に帰ってくる個体数をカウントし合算しました。その結果、当日は1237羽という結果を得ることができました。

(編集部:佐野さんは鳥獣保護管理員であります)



さいたま市岩槻区 慈恩寺親水公園

◇2022年9月9日、アカエリヒレアシギ1、普段見慣れない足にヒレのあるシギを見つけてシャッターを切った。図鑑でも判らず、Iさんに同定してもらいました。シギなのに泳いでいた(榮 武男)。

春日部市 大沼公園

◇2022年9月15日、ツミ。まだ、親からまだ餌を貰っていた(榮 武男)。

さいたま市大宮区寿能町2丁目

◇3月10日、芝川でクイナ1(大橋純子)。

さいたま市の鴨川

◇3月19日、植田谷堰の少し上流でオオバン2羽が反り身で向き合い、両脚で激しく蹴り合うこと数分。負けた方は潜って攻撃をかわしながら川下へ泳ぎ去った。近くにもう1羽いたので、♀を巡る争いか? 4月30日、島根橋付近でイワツバメ十数羽が群舞(大橋純子)。

さいたま市中央区八王子5丁目

◇3月20日、かやのき団地8号棟庭のレンギョウの下でツグミ1がつぶやくように小声でぐざっていた。同じ場所ではほぼ毎年聞ける春の歌(大橋純子)。

蓮田市 西城沼公園とその周辺

◇3月21日、久々にコジュケイの囀り)を聞く。今季ここでの初認。3月28日、ハシボソガラスが2羽並んで、巣材の小枝をくわえて行った。他にカツブリ、コサギ、コゲラ、モズ、カケス、オナガ、エナガ、メジロ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、ハクセキレイ、カワラヒワ、シメなど。4月14日午前7時~7時30分、ヒヨドリの群れが3つ、北に飛ぶ。夫々50±、30±、200±。4月30日、大銀杏の天辺にツグミが3羽。別れを言いに来たか。他にコジュケイ、カルガモ、カワセミ、モズ、オナガ、シジュウカラ、ツバメ、ハクセキレイ、カワラヒワなど。5月3日、シジュウカラが電線で囀っていた。その真下に立つと連続18回囀った。30mほど離れると8回に減少した。60mほど離れると

連続4回のこの時期の囀りになった。5月6日、驚いたような数羽の小鳥の声が響いた。声の方を見るとツミが北西から南西に飛んで行った(長嶋宏之)。

さいたま市岩槻区高曾根

◇3月27日、用水路でダイサギ1、アオサギ1とともにチュウサギ1(今季初認)。チョウゲンボウ、ハヤブサ飛翔(鈴木紀雄)。

◇4月16日、キジ、ダイサギ、タシギ、ヒバリ、ツグミなど(嶋田富夫)。

蓮田市 笹山

◇3月27日、フィールドと電線にタヒバリ約50の群れ(鈴木紀雄)。

さいたま市岩槻区平林寺

◇3月27日、草地すれすれに飛び回るツバメ3。4月2日には5羽。多く発生した虫を採餌しているようだ。5月9日、ムナグロ15(鈴木紀雄)。

さいたま市見沼区膝子

◇3月28日、ホオアカ1、オオジュリン10、シメ、ツグミ、アオジなど。4月2日、ツグミ、タヒバリ、カワラヒワ、キジ。チョウゲンボウ♂1が長時間ホバリングして餌探し。ノスリ、トビも飛ぶ。ウズラの声が2ヶ所から。4月6日、ウズラの声が2ヶ所から。ホオアカ1。4月11日、ウズラの声がするも姿見えず。セッカが枯草にとまり囀る。キジ♂がソソソ歩く。4月25日、用水の中、奥からやってくるイタチの姿。すぐ手前にいたクイナが襲われるかと思ったが、クイナは飛翔して、用水のずっと奥に逃げた。遠くでウズラの声(鈴木紀雄)。

蓮田市 黒浜

◇3月29日、国立病院機構東埼玉病院の東縁でカケス3、シロハラ♀1、ジョウビタキ♀1。4月19日、同病院敷地内の同じ木にシメ2とセンダイムシケイ1。

◇4月19日、国立病院機構東埼玉病院敷地内の同じ木にシメ2とセンダイムシケイ1(鈴木紀雄)。

行田市 さきたま古墳公園

◇3月30日、ウグイスが歩道に面した生垣で囀っていたが、姿は確認できなかった。ヒヨドリが数羽、桜の花に群がって採餌していた。他にアオサギ、シジュウカラなど(長嶋宏之)。

さいたま市西区 大宮花の丘農林公園

◇3月31日、カルガモ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、オオバン、オオタカ、サシバ(今季初認)、カワセミ、シジュウカラ、ウグイス、メジロ、ツグミ、ハクセキレイ、シメ(嶋田富夫)。

さいたま市岩槻区 岩槻文化公園

◇4月1日、元荒川で久々にカイツブリを見る。ヒクイナが盛んに鳴き、トビ2が上空を舞う。オオタカ、カケス、エナガ、シロハラ、ジョウビタキ、シメなど。4月14日、キジ、カルガモ、ヒドリガモ、カイツブリ2、キジバト、アオサギ、ヒクイナ2、コチドリ、トビ、カワセミ、コゲラ、カケス、シジュウカラ、ヤマガラ、ツバメ、ウグイス、エナガ、メジロ、シロハラ、アカハラ、ツグミ、カラヒワ、シメ、ホオジロ、アオジ。4月17日、ツグミ、シメ、エナガ、シジュウカラ、メジロ、コゲラ、ツバメなど。公園の西でコチドリ4。村国池上空を西へ「ヒリリッ」と鳴きながらサンショウウクイ飛ぶ。4月19日、センダイムシクイ2、カケス、シメ。ツグミ20がグラウンドで採餌。エナガ団子が見られた。高空をツミが舞う。ヒクイナはすぐ近くで鳴くも姿見えず。釣り堀で釣り客の数mの距離にアオサギが居座る。4月20日夕刻、ツグミのぐぜり。4月21日、サンショウウクイが鳴きながら飛翔。カケス8。4月25日、元荒川の対岸のヨシ原からオオヨシキリの声。アオジ轟る。キビタキ成鳥♂1、カケス、オナガ、ヒクイナなど。4月27日、はるか上空を舞うヒメアマツバメ3(鈴木紀雄)。

草加市柿木町 そうか公園(53396636)

◇4月1日、ハイタカ1、ムジセッカ♂1。4月8日、サシバ♂1、ムジセッカ♂1。サシバは西から東に上空通過。4月22日、クロツグミ♂1、アトリ1、クロジ5、ムジセッカ♂1。4月29日、キビタキ♂1、ムジセッカ♂1。ムジセッカは4月から良く轟っている、♂と思われる。いつまでいるのか気になる。5月4日、エゾムシクイ♂1、クロジ2。(鈴木 功)。

さいたま市緑区 緑のトラスト保全第1号地周辺～見沼自然公園

◇4月3日、メジロ、ジョウビタキ、カラヒワ、ウグイス、ホオジロ、カシラダカ、シメ、シジュウカラ、エナガ、キジ、コジュケイ、コゲラ、ヤマガラ、ハクセキレイ、ツグミ、アオサギ、コサ

ギ、ヒバリ、ツバメ、モズ、カルガモ、オオタカ、オナガガモ、カワウ、マガモ、カイツブリ、バン、オオバン、カワセミ。ヒメオドリコソウ、オオイヌノフグリが入り混じった群生地にちょこちょこ可愛い頭がみえ隠れ、しばらく様子を見ているとアオジ12(村越百合子)。

伊奈町 埼玉県立がんセンター

～上尾市埼玉県立上尾鷹の台高等学校周辺

◇4月9日、メジロ、モズ、ウグイス、キジ、ヤマガラ、ツバメ、ホオジロ、カワセミ、カシラダカ、カラウ、アオサギ、ヒドリガモ、コガモ、カイツブリ、オオバン、バン、コサギ、ダイサギ、イカルチドリ2、チョウゲンボウ、ツグミ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、コチドリ(村越百合子)。

さいたま市大宮区 大宮公園

◇4月11日、カワウ、ツミ、オナガ、シジュウカラなど(長嶋宏之)。

春日部市下大益新田

◇4月12日、春日部夢の森公園でカルガモ、コガモ、タシギ1、コチドリ4、ツバメ、ハクセキレイ、セッカ、オオバン3。草地でタヒバリ20+が採餌(鈴木紀雄)。

さいたま市岩槻区本町

◇4月13日、ワツツ東館 居住区域最上階の手すりの上で美声で轟るイソヒヨドリ♂1。4月21日にも確認(鈴木紀雄)。

加須市の堀の田んぼ

◇4月15日、ムナグロ4、タシギ7(鈴木 功)。

越谷市 越谷レイクタウン(53396655)

◇4月16日、イソヒヨドリ♂1(鈴木 功)。

さいたま市岩槻区府内

◇4月16日、スーパービバホーム岩槻店屋上にイソヒヨドリ♀1(鈴木紀雄)。

さいたま市岩槻区平林寺

◇4月16日、電線にコムクドリ4。1羽は草地の水たまりで水浴び(鈴木紀雄)。

さいたま市西区西新井(53397436)

◇4月17日、カルガモ、カケス、オナガ、シジュウカラ、ツバメ、ウグイス、ツグミ、オオルリ、ハクセキレイ、シメなど(嶋田富夫)。

蓮田市根金

◇4月18日、キジ、カルガモ、アオサギ、ダイサギ、オオバン、カワセミ、モズ、ツバメ、メジロ、ツグミ、ハクセキレイなど(長嶋宏之)。

さいたま市岩槻区掛

◇4月20日、ムナグロ1。4月22日、ムナグロ21、チュウシャクシギ1、タシギ1。4月24日、ムナグロ25、タシギ2(鈴木紀雄)。

白岡市実ヶ谷

◇4月24日、ムナグロ24(鈴木紀雄)。

志木市宗岡(53396417)

◇4月25日、田んぼでキジ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、ムナグロ、コチドリ、ツバメチドリ(下写真)、トビ、チョウゲンボウ、ツバメ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ(嶋田富夫)。



さいたま市緑区

緑のトラスト保全第1号地周辺

◇4月27日、ヒバリ、ツバメ、ホオジロ、ウグイス、コジュケイ、カワラヒワ、オオタカ、メジロ、シメ、シジュウカラ、キジ、コゲラ、オナガ、セグロセキレイ、ハクセキレイ。キビタキ、カルガモ、エナガの声が聞こえ、探してみるとニセアカシアの枝に幼鳥10が団子のように並んでいた(村越百合子)。

草加市柿木町(53396645)

◇4月27日、ムナグロ24、4月28日、ムナグロ66、タシギ1、ツミ1。4月29日、ムナグロ61、タシギ1。5月4日、ムナグロ8(鈴木功)。

さいたま市桜区 秋ヶ瀬公園

◇4月29日、オオタカ♂成鳥1、♀若鳥1、サンショウウクイの声。キビタキの声(鈴木功)。

入間市宮寺 さいたま緑の森博物館

◇5月3日午前10時、キビタキ、クロツグミ、ウグイス、メジロ、シジュウカラ、エナガ、コゲラ、カワラヒワ、ツバメ、アオサギ、カルガモなど(石光章)。

蓮田市閨戸 N36.001 E139.6410

◇5月9日、キジ♂、カルガモ、ダイサギ、コサ

ギ、ムナグロ、ヒバリ、ツバメ、ハクセキレイ(長嶋宏之)。

草加市青柳6丁目

◇5月13日、サンコウチョウ♂1(下写真)。自宅横の屋敷林にて観察、ベランダから撮影した(鈴木功)。



加須市柳生、栄、柏戸

◇5月14日、田んぼでムナグロ15、キアシシギ1(鈴木功)。

鴻巣市大間一丁目

◇5月16日午後8時50分ごろ、ホトギスの声を聞く。今季の初音。この日以降、しばしば聞く(榎本秀和、榎本みち子)。

飯能市原市場

◇5月21日、妻沢沿いでキセキレイ、ヤマガラ、ホトギス(鈴木紀雄)

飯能市名栗湖周辺

◇5月21日、湖面の浮きなどにオシドリ♂1、マガモ♂1。他にアオサギ、ホオジロ、キセキレイ、キビタキ、オオルリ、クロツグミ、ミソサザイ、カケス(鈴木紀雄)。

表紙の写真 カモ目カモ科ミコアイサ属ミコアイサ

昨年1月。拡大すると嘴先端は上下にずれて何か白いもので繋がっているような。餌の取合いかな。蟹瀬武男(さいたま市)



要予約と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。集合時間に集合場所にお出かけください。初めての方は、青い腕章の担当者に「初めて参加します」と声をおかけください。参加者名簿に氏名・住所・電話番号などを記入、参加費を支払い、鳥のチェックリストを受け取ってください。鳥が見えたらリーダーやベテラン会員たちが望遠鏡で見せてくれます。体調を整えてご参加ください。



ベニマシコ(石原和子)

参 加 費：中学生以下無料、会員100円、一般200円。

持 ち 物：健康保険証、筆記用具、雨具、飲み物。持ついれば、双眼鏡などの観察用具もご用意ください。なくても大丈夫です。

解散時刻：特に記載のない場合、正午から午後1時ごろ。

悪天候の場合は中止です。できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。間際に時刻表が変更される場合もあります。ダイヤ改正の季節です。ご注意をお願いします。

千葉県銚子市・銚子漁港探鳥会 **要予約**

期 日：3月2日(土) 2/1からHPで
集 合：午前7時、JR武藏野線南越谷駅南口
解 通：または東武新越谷駅東口。
交 通：午後7時ころ、東武春日部駅東口。
担 当：往復貸切バス(中型)を利用。
費 用：佐野
定 員：入山、木村、櫻井、佐野
見 ど こ ろ：12,000円(バス代、昼食代等)過不足の場合は当日清算。
定 員：24名(日本野鳥の会埼玉会員優先)
最 少 催 行 人 数：16名。
見 ど こ ろ：昨年は、『ヒメカモメ』。さて、今年は?
図鑑片手にカモメ類の識別の勉強。
そ の 他：昼食は、地魚料理を食べます。雨天決行。参加者には後日、案内を発送します。

寄居町・玉淀河原探鳥会

期 日：3月3日(日)
集 合：午前9時40分、寄居駅南口駅前広場。
交 通：JR大宮駅東口⑦番バス乗り場8:20発
上線 川越8:27発→小川町乗り継ぎで寄居下車。
担 当：秩父鉄道 熊谷9:03発、または東武東
上線 川越8:27発→小川町乗り継ぎで
寄居下車。
見 ど こ ろ：茂木、井上、今村、千島
見 ど こ ろ：寄居駅を出発し、春いっぱいの荒川沿いを玉淀河原まで歩きます。まわりには冬鳥と春の鳥が現れにぎやかです。

久喜市・久喜菖蒲公園探鳥会

期 日：3月7日(木)平日
集 合：午前9時、久喜菖蒲公園駐車場。
解 散：正午ころ、園内で。
交 通：JR宇都宮線久喜駅西口から大和觀

光バス1-1(久喜菖蒲工業団地循環)
管理センター行8:16発で、「久喜菖蒲公園」下車、徒歩約2分。

担 当：別井、中川、長嶋、三好、吉原(早)、吉原(俊)
見 ど こ ろ：昨年はヨシガモやキンクロハジロ等カモ類9種、カンムリカツブリやカワセミ、オオジユリン等も。今年は何かな?
そ の 他：開催時期が昨年と変わりました。バス停からのご案内はありません。

さいたま市・

見沼自然公園ビギナー探鳥会 **要予約**

期 日：3月9日(土) 2/10からHPで
集 合：午前9時、公園管理事務所付近ベンチ。
交 通：JR大宮駅東口⑦番バス乗り場8:20発
浦和学院高校行で「締切橋」下車。バス停からご案内します。
募 集 人 数：20名 一般可
担 当：大井、浅見(健)、浅見(徹)、菅野、小林(み)、富田(英)、富田(由)
見 ど こ ろ：「鳥見を始めてみたいが、何から?」とお悩みの方、自称ビギナーから抜け出したい方、お集まりください。

所沢市・狭山湖探鳥会

期 日：3月9日(土)
集 合：午前9時30分、西武狭山線 西武球場前駅前。
解 散：正午ころ、狭山湖堤防にて。
担 当：石光、金井、小林(ま)、佐藤(久)、長谷部、持丸
見 ど こ ろ：カンムリカツブリの鮮やかな繁殖羽に期待。カモ類は何種揃うでしょうか?

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期 日：3月10日(日)
集 合：午前9時40分、秩父鉄道 大麻生駅前。
交 通：秩父鉄道 熊谷9:21発、または寄居
8:53発に乗車。
解 散：正午ころに野鳥の森池周辺で。
担 当：新井、大畑、関口、高橋、千島、山本
(恵)、茂木
見どころ：ジョウビタキ、カシラダカ、アオジ、河原で
ノスリ、野鳥の森にルリビタキ。

さいたま市・ 大宮公園～市民の森探鳥会

要予約

期 日：3月10日(日) 2/11からHPで
集 合：午前9時30分、埼玉県立歴史と民俗
博物館前(東武野田線大宮公園駅か
ら徒歩5分)。
解 散：午後3～4時ころ、大宮市民の森(最
寄り駅は宇都宮線の土呂)。
募集人数：20名 一般可
担 当：青木、浅見(徹)、小林(み)、森本
見どころ：大宮公園～大宮第三公園～大宮市
民の森と巡り歩くロング探鳥会。弁当
持てゆっくりと小鳥、猛禽、カモなどを
探ししましょう!
ご 注意：弁当持参。坂道はありませんが、距離
はあります(普通に歩いて1時間強)。

羽生市・羽生水郷公園探鳥会

期 日：3月14日(木) 平日
集 合：午前9時、羽生水郷公園水族館前休
憩舎。
交 通：羽生市福祉バスの手子林・三田ヶ谷
ルート(ムジナもん号)を利用。東武伊勢
崎線 羽生駅東口8:04発→南羽生駅
8:21発→「キヤッセ羽生・水郷公園」下
車。県道を渡り公園へ。
共 催：羽生水郷公園管理事務所
担 当：相原(修)、相原(友)、新井、関口、長
嶋、別井、細田、茂木
見どころ：カモ類やオオジユリン、ベニマシコなど
の小鳥たちに別れを告げましょう。夏鳥
との出会いは…。
ご 注意：帰りのバスは14:50発です。

栃木県・日光東照宮裏山探鳥会

期 日：3月16日(土)
集 合：午前9時30分、東武日光駅前。駅から

探鳥スタート。車の方も駅へ。

交 通：春日部7:29発東武スカイツリーライン→
南栗橋7:54着で東武日光線急行に乘
り換え8:03発→東武日光9:18着。
解 散：午後2時ころ、神橋付近で。
担 当：佐野、瀬尾、別井、山本(恵)
見どころ：大谷川と稻荷川沿いをミソサザイやカ
ワガラスを探して歩きます。東照宮裏の
林ではカラ類などの小鳥にも期待。コー
スは緩い上り下りを含んで約8kmある
ので足ごしらえはしっかりと。途中にトイ
レが無いのが難点です。昼食は持参。
駅の売店でも購入できます。

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期 日：3月17日(日)
集 合：午前9時、さいたま市立浦和博物館前。
交 通：JR北浦和駅東口バスターミナルから東
武バス①番乗り場 さいたま市立病院
行8:21発で終点下車。
後 援：さいたま市立浦和博物館
担 当：青木、小林(み)、浅見(健)、浅見
(徹)、菅野、楠見、小菅、須崎、富田
(英)、富田(由)、中橋、畠山、三好
見どころ：残っている冬鳥もいるかもしれません。
綺麗なツグミ、綺麗なアオジ、綺麗なシ
メを探します。

松伏町・松伏記念公園探鳥会

期 日：3月20日(水・祝)
集 合：午前9時30分、松伏記念公園北口駐
車場。
交 通：東武伊勢崎線 北越谷駅東口①番バ
ス乗り場から茨急バス・エローラ行き
9:00発で「松伏高校前」下車。または武
蔵野線 吉川駅北口③番バス乗り場か
ら茨急バス・エローラ行き8:40発で「松
伏高校前」下車。松伏高校の向かい
側が集合場所です。
共 催：松伏町中央公民館
担 当：山部、石川(光)、佐野、橋口
見どころ：この日は「自然をたたえ生物をいつくし
む」趣旨の祝日。公園と田んぼを歩き、
その趣旨に賛同します。

秩父市・秩父ミューズパーク探鳥会

期 日：3月23日(土)

集 合：午前9時、西武秩父駅前。集合後、ミューズパーク循環バス9:15発で「音楽寺」下車。または午前9時45分、ミューズパーク内の百花園駐車場。

交 通：秩父鉄道熊谷7:10発→御花畠8:26着→<徒歩8分>→西武秩父8:34着。または所沢7:26発(西武池袋線急行)→飯能7:51着(乗り換え)7:54発→西武秩父8:45着。

解 散：昼食後、午後1時頃に現地で。西武秩父駅行きのバスは音楽寺13:24発(秩父駅13:50着、西武秩父駅14:00着)。

担 当：長野、青木、井上、佐野

見 ど こ ろ：秩父市内での探鳥会。カラ類やキツツキ類を中心に観察。アトリやマヒワにも期待。若干のアップダウンがあります。

ご 注 意：弁当持参。園内に売店はありません。

狹山市・入間川定例探鳥会

期 日：3月24日(日)

集 合：午前9時、西武新宿線 狹山市駅西口。集合場所を変更します。西口駅舎を出たらすぐ左の階段を下りて30m。公衆トイレの前です。

解 散：正午ころ、稻荷山公園で。

交 通：西武新宿線 本川越8:40発、または所沢8:38発に乗車。

担 当：長谷部、石光、金井、小林(ま)、佐藤(久)、瀬尾、中村(祐)、山口、山本(真)

見 ど こ ろ：恒例、カタクリとツバメを見る探鳥会。

加須市・渡良瀬遊水地探鳥会

期 日：3月30日(土)

集 合：午前8時45分、中央エントランス駐車場。

交 通：東武線館林行 新越谷7:23発→春日部7:38発→東武動物公園7:43発で南栗橋行に乗り換え→南栗橋7:54着で東武宇都宮行に乗り換え→柳生8:10着。またはJR宇都宮線下り大宮7:27発→栗橋7:55着で東武日光線に乗り換え→柳生8:10着。遊水地への標識に従って中央エントランスへ。

解 散：正午ころ、谷中村史跡ゾーンで。

担 当：佐野、浅見(徹)、小林(み)、野口、別井、山本(恵)、山本(巧)

見 ど こ ろ：ヨシ焼が終わった遊水地は、そろそろ冬鳥の見納めの時期。水の抜けた谷

中湖ではシギ・チドリがみられるかも。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期 日：4月7日(日)

集 合：午前9時、北本自然観察公園・埼玉県自然学習センター玄関前広場。

交 通：JR高崎線 北本駅西口から、北里大学メデイカルセンター行バス8:38発で「自然観察公園前」下車。

担 当：吉原(俊)、相原(修)、相原(友)、秋葉、浅見(徹)、大畠、柴田、関口、永野、山本(恵)、吉原(早)

見 ど こ ろ：桜の開花状況を見てお花見探鳥会になるかも。赤さを増したベニマシコに会えたならラッキー。

さいたま市・民家園周辺定例探鳥会

期 日：4月7日(日)

集 合：午前9時、浦和くらしの博物館民家園駐車場、念佛橋バス停前。

交 通：JR浦和駅東口①番バス乗り場から、東川口駅北口行8:37発で「念佛橋」下車。

担 当：伊藤、菅野、須崎、手塚、中橋、野口、藤田

見 ど こ ろ：花の季節です(桜は葉桜か?)。夏鳥たちも来てくれているでしょう。

ご 注 意：芝川第一調節池方面には行きません。

長瀬町・宝登山探鳥会

期 日：4月7日(日)

集 合：午前9時40分、秩父鉄道 長瀬駅前。

解 散：正午～午後1時ころ、宝登山山頂ロープウェイ駅前広場。

交 通：秩父鉄道 御花畠8:57発、または寄居9:15発(熊谷8:44発)に乗車。

担 当：井上、近藤、佐久間、佐野

見 ど こ ろ：小鳥のさえずり、花見、マヒワに期待しましょう。

ご 注 意：標高498mの山登り。飲み物やお菓子を用意して履きなれた靴でお出かけください。

さいたま市・田島ヶ原植物観察会 要予約

期 日：4月10日(水) 平日 3/13からHPで

集 合：午前10時、桜草公園管理棟前。

交 通：JR浦和駅西口から志木駅東口行バス(志01)乗車→「さくらそう公園」下車。

さいたま市・三室地区定例探鳥会

またはJR武藏野線西浦和駅から徒歩20分。
募集人数: 20名 会員限定
担当: 小林(み)、今村、工藤、中橋、藤田
見どころ: サクラソウ自生地。でも、この魅力はそれだけではありません。あっちにも希少種、こっちにも希少種!
ご注意: 三脚は使えません。持ってこないでね。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期 日: 4月14日(日)
集 合: 午前9時40分、秩父鉄道 大麻生駅前。
交 通: 秩父鉄道 熊谷9:21発、または寄居8:53発に乗車。
解 散: 正午ころに野鳥の森池周辺で。
担 当: 千島、新井、大畑、関口、高橋、山本(恵)、茂木
見どころ: ツグミ、シメ、アオジがまだいて、ウグイスがさえずりツバメが飛びオオルリ、センダイムシクイが来ているでしょう。

さいたま市・大宮第二公園探鳥会

期 日: 4月18日(木)平日
集 合: 午前9時、大宮第二公園ギャラリー棟(管理事務所)前。
交 通: 東武野田線大宮公園駅から徒歩約20分。車の方は大宮第二公園駐車場が利用可能。
共 催: 大宮第二公園管理事務所
担 当: 浅見(徹)、青木、浅見(健)、小林(み)、近藤、瀬尾、富田(英)、富田(由)、山下、三好
見どころ: 大宮第二公園～芝川～大宮第三公園と巡って、夏鳥と留鳥を探します。

春日部市・内牧公園探鳥会

期 日: 4月20日(土)
集 合: 午前9時15分、アスレチック広場前・第一駐車場。
交 通: 春バス(コミュニティバス)が便利です。豊春駅西口8:06発→内牧公園8:21着。北春日部駅西口8:38発→内牧公園8:50着。
担 当: 石川(敏)、青山(美)、佐野、中村(直)、長野、橋口、別井、三好
見どころ: 新緑の頃の雑木林、蓮池、田んぼ、屋敷林を巡り、探鳥します。

期 日: 4月21日(日)
集 合: 午前9時、さいたま市立浦和博物館前。
交 通: JR北浦和駅東口バスター・ミナルから東武バス①番乗り場 さいたま市立病院行8:21発で終点下車。
後 援: さいたま市立浦和博物館
担 当: 浅見(徹)、小林(み)、青木、浅見(健)、菅野、楠見、小菅、須崎、富田(英)、富田(由)、中橋、畠山、三好
見どころ: メジロやホオジロの囀り、キジの母衣打ちなど、三室の春を楽しみます。

東京都・三宅島探鳥会

要予約

期 日: 4月26日(金)～28日(日)
集 合: 26日夜9時、竹芝客船ターミナル(竹芝桟橋東海汽船)待合室。
日 程: 東京出航26日22:30。三宅島着27日朝5時ころ。三宅島出航28日13:35。東京着28日19:40ころ。
解 散: 28日下船前の船内で。
費 用: 37,000円(船賃変動で未定※)
※費用確定次第ホームページに掲載。
定 員: リーダーを除き10組(日本野鳥の会埼玉会員優先)最少催行人数10名。
申しこみ: 当会HPで3月1日から受付開始。
担 当: 青木、今村、小林(み)、佐野、長野
見どころ: 三宅島ならではのアカコッコ、タネコマドリ、イジマムシクイなど。帰りの船からの海鳥観察も魅力の一つ。
そ の 他: 27日朝食・昼食、28日夕食代は各自負担となります。宿泊は男女別々の相部屋。

シギ・チドリ類 県内調査

期 日: 4月27日(土)、予備日28日(日)
場 所: 大久保農耕地(さいたま市)
集 合: 午前9時30分、荒川総合運動公園運動場北東側駐輪場わきの広場(横堤の下)。
解 散: 集合場所で、正午ころの予定。
交 通: 浦和駅西口②番バス乗り場から大久保浄水場行8:15発で終点「大久保浄水場」下車、徒歩約15分。
担 当: 石井(智)
そ の 他: コロナ前のように一般参加大歓迎! 調査のため、参加費は不要。雨天(小雨でも)中止。予備日も雨天の時は調査中止。



6月8日(木) 羽生市 羽生水郷公園

参加:30(会員27)名 天気:晴

キジ、カルガモ、カツツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コチドリ、トビ、カワセミ、コゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、オオヨシキリ、セッカ、ムクドリ、スズメ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ(25種)(番外:ドバト) 沼の低木で7年間営巣していたアオサギが今年は不在、ツバメの雛も観られず残念。反面暫く観なかったコチドリが4羽、キジ♂♀が芝生の見やすい場所で佇み、ヨシ原ではオオヨシキリやセッカが囀り、カワラヒワやホオジロはあちこちで楽しめた。 (相原修一)

6月18日(日) さいたま市 三室地区

参加: 38(会員30)名 天気: 晴時々曇

キジ、キジバト、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、メジロ、オオヨシキリ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ(16種)(番外:ドバト) 前日の「熱中症警戒アラート予報」によると、正午には「厳重警戒」。まだ6月半ばなのに。代用水西縁沿いの木陰の道を選んで、身近な鳥の幼鳥を探す。ムクドリの群れには色の淡い幼鳥がかなり混ざっていた。口の中の赤いハシボソガラスの幼鳥に歓声が沸く。その背後には、我が子を見守る親鳥の姿。一人だったら攻撃されていたかもしない。気をつけなければ。(小林みどり)

7月1日(土) 川越市 伊佐沼 Young

参加: 28(会員13)名 天気: 雨時々曇

カルガモ、カツツブリ、キジバト、カワウ、ヨシゴイ、ゴイサギ、ダイサギ、オオバン、ヒメアマツバメ、コチドリ、オオタカ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、オオヨシキリ、セッカ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ(23種) あいにくの天気となつたが、30名近いご参加でスタッフもビックリ。ス

タートしてすぐに可愛いカツツブリ親子が見られた。ターゲット種としていたコアジサシは旅立ったのか居なかった。浮島エリアを眺めていると、ヨシゴイが何度も出てきてくれた。婚姻色の綺麗なオスも見られ、ヨシゴイ2羽が我々の近くを舞ってくれるシーンも。雨が強まる予想だったため、早めに終了。 (廣田純平)

7月16日(日) さいたま市 三室地区

猛暑のため中止。 (青木正俊)

7月23日(日) 狹山市 入間川

参加: 21(会員19)名 天気: 晴

カルガモ、キジバト、カワウ、ササゴイ、アオサギ、ダイサギ、オオバン、イカルチドリ、イソシギ、トビ、カワセミ、コゲラ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ(27種)(番外:ドバト) 7月の入間川はとても暑く、鳥が少ない。そのため、表向きには「若鳥の観察」としたが、一番の狙いは、ササゴイ。河原を歩き始めて間もなく「ササゴイ!」の声。対岸の水際にいた。距離も近く、全員見ることができた。探鳥コースの中に数羽がいるようだ。 (長谷部謙二)

8月5日(土) 千葉県 ふなばし三番瀬海浜公園

参加: 20(会員17)名 天気: 晴

カワウ、アオサギ、ダイサギ、ダイゼン、メダイチドリ、ミヤコドリ、オオソリハシシギ、キアシシギ、ソリハシシギ、キヨウジョシギ、ミユビシギ、ウミネコ、オオセグロカモメ、コアジサシ、ハシボソガラス、ツバメ、ヒヨドリ、スズメ、ハクセキレイ(19種)(番外:ドバト) 暑さを心配したが、海辺は潮風が心地良かった。最初に目についたのはキアシシギ、涼しげな声で鳴きかわしている。ちょこちょこと歩き回るのはソリハシシギ、スコープに入れるのが大変。ミユビシギは冬の装いと異なり、トウネンにそっくりであるが、採餌の仕方はそのままなのでわかりやすい。お目当てのミヤコドリは目の前を飛んで少し遠くに降りたが、無事に観察できた。この夏は猛暑で鳥見もままならないが、三番瀬は最高。(菱沼一充)

8月6日(日) 北本市 石戸宿

猛暑のため中止。 (吉原俊雄)

8月19日(土) 川越市 伊佐沼 Young

雷雨のため途中打ち切り。 (廣田純平)

8月20日(日) さいたま市 三室地区

猛暑のため中止。 (浅見 徹)

9月17日(日) さいたま市 三室地区

参加:25(会員23)名 天気:晴時々曇

カルガモ、キジバト、アオサギ、ダイサギ、ヒメアマツバメ、コゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ヒヨドリ、メジロ、イソヒヨドリ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ(18種) (番外:ドバト) モズの高鳴きとカラス類の換羽に注目して観察した。今回、初めてサブリーダーを務めたお二人の感想。「鳥を探そうとすると人の様子をあまり見られず、人をしっかり見ようとするといつもより鳥を見つけられなくなってしまった(H&Y. T)」「ビギナーにモズの説明をしたとき、分かるように簡潔に説明するのが意外に難しかった(H. T)」「鳥のいる位置を伝えようとしたが、適切な言葉が出ず難しかった(Y. T)」…ベテランリーダーも同じです。一緒に頑張りましょう。 (小林みどり)

9月23日(土祝) 松伏町 松伏記念公園

参加:8(会員8)名 天気:曇

カルガモ、キジバト、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、タシギ、カワセミ、コゲラ、チョウゲンボウ、モズ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ(19種) (番外:ドバト) 開始時刻1時間前までいにくの雨天。そのため共催団体は実施を見送る。しかし、開始時刻直前には薄日が差ってきて当会は実施へ。見せ場の池では、ルアーの釣り人が多く水辺の鳥はカワセミ、ダイサギのみ。期待の田んぼも稻刈り無しで、サギたちははるか彼方。「まあ、こんな日もあるよ」と温かい声。(山部直喜)

9月24日(日) 狹山市 入間川

参加:27(会員24)名 天気:晴

カルガモ、キジバト、ササゴイ、アオサギ、ダイ

サギ、コサギ、ヒメアマツバメ、イソシギ、トビ、カワセミ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、イワツバメ、ヒヨドリ、メジロ、オオヨシキリ、ムクドリ、スズメ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ(24種+ハイタカ属不明種) (番外:ドバト、ガビチョウ) 数日前と違って空気が入れ替わり、からっとした晴天。前年のように渡り途中の鳥たちを期待したが、今年は空振り。そのかわり、ササゴイがよく見られた。また、姿は見えないけれど、オオヨシキリのさえずりが聞こえてきた。9月の入間川では珍しい出来事。 (長谷部謙二)

10月1日(日) 北本市 石戸宿

参加:48(会員41)名 天気:曇

カルガモ、コガモ、カツブリ、キジバト、アオサギ、ダイサギ、ヒメアマツバメ、トビ、カワセミ、コゲラ、アカゲラ、モズ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、スズメ、セグロセキレイ(24種) (番外:ガビチョウ) 開始早々、ふれあい橋から木の中で葉隠れに動くシジュウカラ、メジロ、コゲラ等の混群。河川敷の駐車場からアオサギ、カワセミ。上空に30羽のトビが旋回しトビ柱が建つ。グラウンドでセグロセキレイ。お目当てのシマアジは、池から飛び立った最後のカモが怪しいが断定できず。終了後、ふれあい橋の正面の電線にツミの幼鳥がジッと止まっているのを確認。(吉原俊雄)

10月1日(日) さいたま市 民家園周辺

参加:22(会員15)名 天気:曇

ヒドリガモ、カルガモ、ハシビロガモ、コガモ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、クサシギ、カワセミ、コゲラ、ハヤブサ、モズ、カケス、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、メジロ、ムクドリ、ノビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ(26種) (番外:ドバト) 蒸し暑さが残る中スタート。調節池内に釣り人が入り込んでいるためか、渡りのカモ類は少なめ。そんな中、主役を張ってくれたのがハヤブサ若鳥。スピード感ある飛翔を見せてくれた後、目の前の鉄塔にとまってくれて全員でしっかり観察。その後、ノビタキも出てくれたが遠かった。 (須崎 聰)



連絡帳

見沼・さぎ山交流広場運営協議会令和5年度第3回運営会議

令和5年10月20日(金)午前10時～11時30分、さぎ山記念館学習室で開催された会議に、当会から浅見徹幹事が出席。みぬま秋フェス2023 inさぎ山、フォトコン2023などについて話し合いました。

日本野鳥の会創立90周年記念「支部推薦探鳥地情報HP」の制作に協力依頼

12月10日(日)本部広報室から、「全国86の連係団体・支部から生物多様性、野鳥保護の観点から探鳥地を1ヵ所ずつ推薦、執筆してもらい、HPで公開したいので、協力を依頼する。」とのメールが届きました。普及部が対応の検討を進めています。

ごめんなさいコーナー

『前号行事案内の訂正』

加須市・加須はなさき公園探鳥会

期日:2月14日(木)は、14日(水)の誤りでした。
ホームページの探鳥会案内欄も、訂正しました。

会員数は

2023年12月1日現在1,449人です。

活動報告

2023年11月8日(水)-10日(金)埼玉役員会メーリングリストを利用したメール交換による

役員会を開催。長野誠治普及部長から上程された12月10日(日)狭山湖ヤング探鳥会の追加、2024年1月13日(土)渡良瀬遊水地ヤング探鳥会の日程確定、大宮公園ビギナーワークショップを1月14日(日)に日程変更、の3議案がすべて承認されました。

11月9日(木)-11日(土)、同メーリングリストを利用したメール交換による役員会を開催。事務局担当海老原美夫から上程された令和5年度総会議案説明書(案)が、承認されました。

12月13日(水)-15日(金)、同メーリングリストを利用したメール交換による役員会を開催。長野誠治普及部長が上程した第1号議案「令和6年3-4月探鳥会予定(案)」と、山部直喜代表が上程した第2号議案「青木正俊幹事が監事を退任し、菱沼一充幹事が後任監事に就任する。」が承認されました。

なお、今後青木幹事には、事務局のお手伝いをしていただくこととなりました。

編集後記

私の日課は散歩をすることです。外に出て新鮮な空気を吸うだけでも気持ちが良く、野鳥達に会えるのはもちろん、身近な自然の美しさに触ると幸せを感じます。この日常がこの先もずっと続くように願っています。

そして、会員の皆様にとても今年が良い一年となるように願っております!(柴崎)

しらこばと 2024年1-2月合併号(第462号)

発行人 日本野鳥の会埼玉代表 山部直喜 (〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目26番8号
プリムローズ岸町107号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460

郵便振替 00190-3-121130 URL <https://www.wbsj-saitama.org> 事務局 office@wbsj-saitama.org
編集部への原稿 yamabezuku@wbsj-saitama.org 編集部への野鳥情報 toridayori@wbsj-saitama.org

住所変更などの連絡は gyomu@wbsj.org またはTEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635
〒141-0031 品川区西五反田3丁目9番23号 丸和ビル (公財)日本野鳥の会会員室へ

本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、
かたくお断りします。